

2023年1月発行 第466号

季刊冬号

曙光



CONTENTS

年始の挨拶	2
精神疾患の話	3
地域連携室だより	4
デイケアたんぽぽだより	4
新任紹介	5
OT だより	5
新人紹介	5
運動会	6
おすすめの本紹介	6
トピックス	7



医療法人社団 緑誠会

光の丘病院



日本医療機能評価機構

年始の挨拶



理事長・院長
馬屋原 健

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返しながら流行の第8波に突入しており、県内では12月16日以来の「医療非常事態警報」発令中ですが、感染者続出で綱渡りの医療機関とはまるで違う世界のように、街は「経済を回す」べく買い物客や観光客で賑わいを見せています。「医療従事者 = エssenシャルワーカー」としてテレビやラジオの報道で毎日のようにもてはやされていたことは、ひと時の過去の記憶となりそうですが、二類から五類感染症への安易な転換は、コロナの影響を過小評価する過ちであり、医療現場の厳しい実態を広く知っていただかねばなりません。

旧年中の医療動向を精神科病院の視点で振り返ると、主要なテーマは精神保健福祉法の改正を巡る厚生労働省精神・障害保健課における議論でした。精神保健福祉法は、診療科を問わず順守すべき医療法や医師法等に加えて、精神病床だけに課されている法的基準です。必ずしも患者さん自身の自発的同意のもとでの入院（任意入院）ばかりではない精神科医療の特性から、精神保健指定医の判断と家族等の同意に基づいて成立する非同意的入院（医療保護入院）の在り方を巡り、我が国だけが保有する制度であるかのような誤解とレッテルから、その廃止論が一部マスコミの報道で煽られる局面さえありました。しかし、非同意的な入院制度が諸外国においても存在していることが次第に明らかにされ、医療保護入院は必要最小限にすることを目指し、任意入院への移行に努めるとの着地点に至り、旧年末の12月10日の参議院本会議にて精神保健福祉法改正案が可決・成立されました。ご自身で自発的に入院を判断できない認知症の患者さんが今後ますます増えることは精神科医療に限らず、非自発的入院や安静保持のための行動制限等の課題は今後も思慮深い検討を要します。

医政局における検討会で審議中の第8次医療計画は、「新興感染症」を加えた5疾病6事業として令和5年度に都道府県での策定が始まり、令和6年度に運用開始となります。「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の観点から従来より当院は、広島県における認知症とアルコール依存症の2疾患における地域連携拠点医療機関として、また、令和3年度より統合失調症の県拠点医療機関として活動してきました。

本年も、次期医療計画において同様の重積を担えるように職員一同研鑽を積み、地域精神科医療の充実に臨んで参る所存です。

どうぞ本年もよろしくご指導のほどをお願い致します。



アスペルガー症候群は広汎性発達障害（広い範囲に発達の遅れがあり、特に社会性やコミュニケーション能力、行動の偏りに問題がある場合を指す）の1つで、自閉症とアスペルガー症候群は特徴が重なりあい、境界線は明確ではありません。現在は、自閉スペクトラム症という1つのカテゴリーにまとめられています。アスペルガー症候群は知的能力が高く、言語能力に関する遅れがみられないため、幼少期は発達の問題を疑われにくく、言葉のはしばしに自閉症特有のこだわりや認知の障害が表れ、時にそれがトラブルに発展してしまいます。

特徴

1 想像力が育ちにくい

想像力や応用力を働かせた柔軟な対応ができない。

例) 予定外の事が起こると混乱する・急なスケジュール変更に対応できず怒る。

2 社会性が乏しい

対人関係を上手く築けない。友達を避けたり、初対面の相手に親しく話しかけるなど社会的な距離がつかめない。

例) 集団行動をとる場面で混乱する。悪意なく、面と向かって相手に悪口を言う。

3 会話がすれ違う

言葉は覚えるが正しく使えない。相手の話を誤解したり、質問と異なる回答が目立つ

例) 質問に答えず、好き勝手に話す。場面に合わない丁寧な言葉を使う。

アスペルガー症候群は発達障害であって病気ではありません。想像力や社会性の乏しさがある一方で記憶力や正確性などは優れています。障害に向き合い、長所を伸ばすように生活を送る事が大切です。より多くの方がこのような障害があることを知り、理解を深めていくことが大切です。

こうはんせいはいったつしょうがい

広汎性発達障害

自閉症

高機能（自閉症）

・アスペルガー症候群と同じで自閉症の特性を持ち、知的な遅れはない。IQ70以上が目安。

中機能（自閉症）

・自閉症のうち、知的発達の遅れが軽度から中等度の場合。人によって言葉の覚え方は異なる。

低機能（自閉症）

・知的発達の遅れはあるコミュニケーションをとるには周囲の支援が必要。

アスペルガー症候群

社会性やこだわり等に自閉症の特徴が表れるが、知的発達には問題がない。言葉は覚える。



(医師：山根 美智子)

地域連携室だより ~広島県認知症疾患医療センター(福山・府中圏域)活動報告~

令和4年9月13日(火)、第18回 福山・府中地区認知症医療連携協議会をWEBで開催しました。この会議は、市内の各医師会代表の先生方・地域包括支援センター・行政の方などにご出席いただき年2回開催しています。今回は、認知症疾患医療センターの受診状況等の実績報告を行なった他、当院の認知症治療環境について、認知症治療病棟の看護師長から情報提供を行いました。

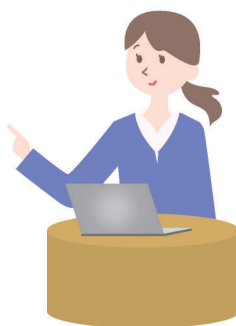
また、10月13日(木)には第9回福山・府中地区認知症を考える研修会を開催しました。この研修会は、地域において認知症に対して進行予防から地域生活の維持まで必要となる医療を提供できる機能体制の構築を図ることを目的に、保健医療・介護関係者等を対象として年1回開催しています。昨年に続き、今年もWEBでの開催となりました。

今年は、島根大学名誉教授 慶応義塾大学客員教授 堀口淳先生をお招きし、「向精神薬や漢方薬の使い方～不眠や認知症を中心に～」と題して、ご講演を賜りました。

当日は、保健医療・介護関係など79名の方にご参加いただきました。堀口先生には、漢方薬の使い方や安心感を与える声掛けをすること等の、認知症の人と関わる際の工夫について分かりやすくご説明いただき、大変勉強になりました。

次年度も研修会を開催する予定ですので、ぜひ多くの皆様にご参加いただけたらと思います。

(認知症疾患医療センター 主任: 足立 萌美)



デイケアたんぽぽだより ~運動会~

今年度で3回目となる室内運動会！いつもは机と椅子が並ぶデイルームですが、マットを敷き詰めた運動会仕様です。今回新たに紙コップリレー、的あて、モルック（フィンランド発祥の伝統的な投てき競技）の種目が加わり、紅白チームにわかれて5種類の競技を行いました。昼食は秋を感じるお弁当でほっこり休憩…。モルックではファインプレーの連続で応援にも熱が入りました。勝敗は最終競技までもつれこみ、今回は僅差で白組の勝利となりました。「座ってできる競技があって楽しかった」「モルックはこれからもやりたい」との感想もあり、みんなでスポーツの秋・食欲の秋を楽しんだ運動会となりました。

(公認心理師: 野村 明希)



新任紹介



【3 病棟主任】

たけもと かずひろ
竹本 和浩

2022年10月1日より認知症治療病棟の主任に拝命されました。

2007年4月に入職し、早15年が経ちました。私は看護補助からのスタートで業務の傍ら看護学校へ通い、看護師資格を取得しました。社会人経験を経ての入職であり、学生時代は周り自分自身を比較した時に経験や知識が劣っていると、強く焦りを感じていました。その為、沢山の経験を得るために常に現場の最前線にいたいと行動を起こしてきました。当時は看護行為である注射や処置ばかりにとらわれていたのを覚えています。精神科看護では患者さんをいかに全人的に知り関わる事ができるかが重要と気づきました。患者さんが起こす行動の一つ一つには理由があり、患者さんが経験してきた生活習慣やライフイベントなどが大きく関係していると感じたからです。多忙な時は、つい業務優先となり、上手く関わりができていないと反省することもあります。今までの経験から学んだ事を忘れずに患者さんとの関わりを大事にしていきたいと思えます。

この15年間、困難な事や挫折してしまいそうな事が幾度もありましたが、その都度、先輩や同僚から励まし支えていただいたお陰で、今もこうして看護師を続けています。光の丘病院で培った看護観や人との出会いと関わりに感謝の気持ちを持ちながら、主任という立場での任務を遂行できるよう全力で努め、現場により近い主任を目指していきたいと思えます。これからも、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

OTだより



作業療法の一つとして約20年平和の願いを込めて折鶴を作成しています。患者さん一人一人が心を込めて折った折鶴を、定期的に広島平和記念資料館へ送らせていただいています。広島平和記念資料館より嬉しい便りが届きましたのでここで紹介させていただきます。

(作業療法士：天野 今日子)



新人紹介

- ①光の丘病院に入職したきっかけ ②得意なこと ③好きな芸能人・有名人とその理由 ④新年の抱負

やまじ ゆうこ
放射線技師：山路 裕子



- ① 偉大な放射線技師の方から声をかけていただきました
- ② お弁当を短時間で作ること
- ③ 「安室奈美恵」歌もダンスもうまくて、かわいくてカッコいい
- ④ 今年こそは、宅トレを継続したいです

えぐさ けいこ
栄養士：江草 桂子



- ① ハローワーク
- ② バドミントン
- ③ 特定の人は居ないがイケメンが好き
美しい容姿に癒されるから
- ④ 教えてもらった仕事を早く身に付けたい

行事 ~運動会~

病棟ごとに競技を色々考えて、たくさんの患者様が参加されました。スタッフも共に盛り上がった運動会でした。「とても楽しかった」「またやりたい!」との感想が聞かれました。



運動会の定番☆
「玉入れ」



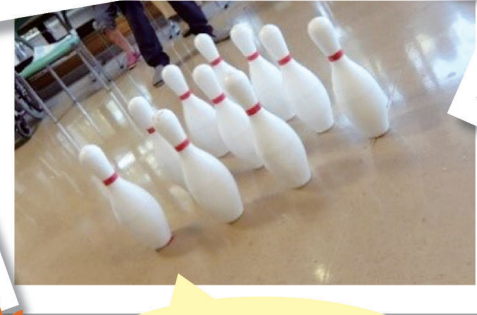
ほしい景品をゲット!!
「日用品釣り」



大きな風船でアタック☆
「風船バレー」



目指せ!! ストライク☆
「ボーリング」



意外と頭脳戦!?
「旗上げゲーム」



(行事運営委員：平賀 さおり)

おすすめの本紹介

「百年法」(山田宗樹著, 角川書店, 2012)

『不老不死が実現した日本。しかし、法律により百年後に死ななければならない――』

永遠に続く若さを手に入れて、でも100年経ったら必ず死ななければならないとしたら…本にはいろんなジャンルがあって、楽しみ方も人それぞれにあると思いますが、私が本を読む楽しみのひとつは、現実逃避できること。SF小説は日常を離れて空想の世界に没頭するのにピッタリです。この本は、上記の通り国民全員が成人後に不老化処置を受けられるようになった日本で人は皆若い外見のまま個人主義的に生きる中、最初の百年法施行の年を迎え、受け入れる人・拒否する人・免れようと暗躍する人など、翻弄される人間を描きます。さて、結末は…? 長編ですが、ドキドキ感が最後まで止まらず没入して読めた、おすすめの一冊です。

(公認心理師：平井 景子)



トピックス ～福山市長表敬訪問 ボディビル日本～



こんにちは。みなさん体調を崩しておられないでしょうか。健康的な生活には睡眠・バランスのとれた食事・運動が良いと言われますね。この3つに加えて趣味の活動を楽しめると、精神的により充実感を持って過ごせるのではないのでしょうか。この記事を読んでくださっている方の中には、趣味の活動まで手が回らない、そんな元気も意欲も出ないという方もいらっしゃると思います。もちろん趣味は楽しむものだと思いますので、楽しめる時が来るのを焦らず待ち日々を過ごして頂ければと思います。

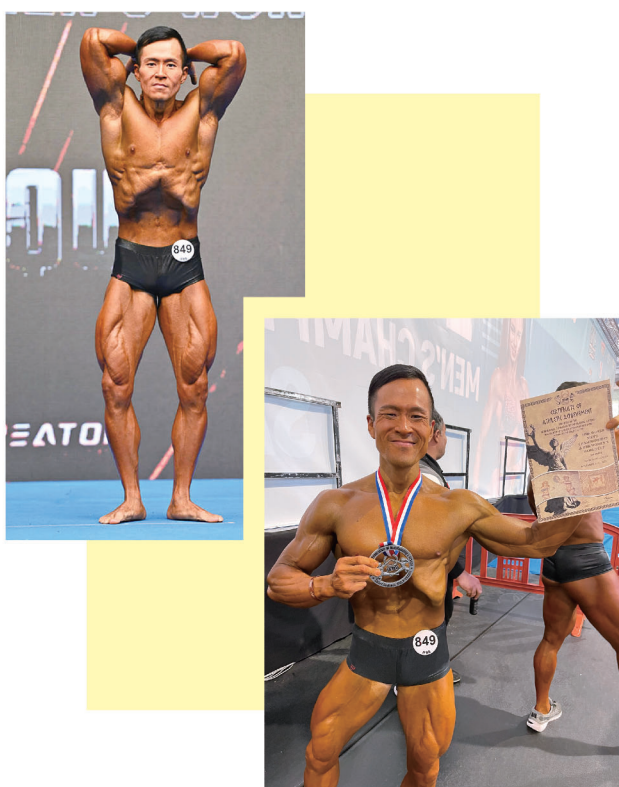
今回は私の趣味の話をしてください。私は20歳頃から身体作りを趣味にしています。大学生の時に友人に誘われて大学の体育館でトレーニングを始めました。

光の丘病院に勤務し始めた頃にボディビルが盛んなスポーツジムに入会し、ボディビルの大会に出場し始めました。トレーニング・食事・休養（睡眠）がボディビルの三本柱だと実感しこれまで以上に熱心に取り組みました。2015年から様々な大会に出場し、嬉しい事・悔しい事がありました。

2022年は特に嬉しい事がありました。奈良県で開催された大会で優勝し、スペインで開催される世界大会に出場する事が決まったのです。福山市長を表敬訪問し激励を受け、11月に世界大会に出場しました。初めて尽くしで出発前は緊張しましたが、大会を楽しむ事ができ嬉しい結果もついてきたので、終わってみれば良い経験になりました。

毎年大会の直前、厳しいダイエットの時期に「もう今年で大会はやめる」と思うのに、大会が終わると「来年はもっといい体で出場したい」と思わせる不思議な魅力があるので当分やめられそうにありません（笑）。

（医師：徳岡 優生）



外来担当医表

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	1診	院長	羽原	院長 (完全予約制)	石岡	徳岡	石岡
	2診	大加茂	藤原 (9:30から)	大加茂	藤田	山根	徳岡
	3診	川上			山根		大加茂 (第2、第4 予約制)
午後 15:00~16:30	1診	院長	羽原	大加茂	石岡	徳岡	
	2診	川上		中田	藤田	山根	
	3診						
休診日	日曜日・祝日						

管理者 馬屋原 健

※初診の方は予約制となっております。

あらかじめ、お電話でご予約をお取りください。

※外来担当医表は 1 月現在

予約や受診に関するご相談は、地域連携室まで

TEL. 084-976-1415

お問い合わせ時間：月～土 8:30～17:00（祝日は除く）



「チームラボ 福山城 光の祭」にて

INFOMATION

院内行事

4月 花見茶会

当院の理念『3C』

Comfortable Life

人々の生活の中に、安心感をもたらす医療サービスを提供する。

Counseling Mind

カウンセリング・マインドに基づいて、人々に奉仕する。

Community Network

院内により深く、そして地域社会により広く、保健、医療、文化、福祉サービスのネットワークを広げていく。

患者さまの権利

- 良質な医療を公平に受ける権利があります。
- ひとりの人間として、その人格・価値観を尊重されます。
- 病気、治療などについて、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 十分な説明と情報を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で決定する権利があります。
- 病気の治療等について、病院外の医師からも診察や意見を求める権利があります。（セカンドオピニオン）
- 自分の病気についての情報開示を求める権利があります。
- 治療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。

編集 後記

気象庁によるとこの冬は、ラニーニャ現象の影響で冬型の気圧配置が強く寒気の影響を受けやすいため、平年より気温が低い予想だそうです。しかし、円安やウクライナ情勢などから燃料の価格高騰はまだまだ続くようで、さらに厳しい冬になるかもしれませんね。

（広報委員：林原・高田・沖・野村）



医療法人社団 緑誠会

光の丘病院

〒720-1147 広島県福山市駅家町向永谷302番地
TEL.084-976-1415 FAX.084-976-0954

広島県認知症疾患医療センター
TEL.084-976-1412

ホームページでも「曙光」をご覧ください

光の丘病院

検索

<http://www.hikarihp.com/>